

受付印	
収入印紙	800円
予納郵便切手	円
準口頭	

居住用不動産処分許可 申立書
(この欄に収入印紙800円をはる。)
(はった印紙に押印しないでください。)

添付書類	※ 申立書とは別の案内書面「居住用不動産処分許可の申立てについて」を御覧ください。
------	---

基本事件(後見等開始事件)番号		平成・令和	年(家)第	号
さいたま家庭裁判所		申立人の署名押印		印
支部・出張所 御中		又は記名押印		
(申立書作成日) 令和 年 月 日				
申立人	住所 又は 事務所	〒	都道 府県	電話 () (方)
	氏名			
本人	住所	都道 府県	(方)	
	氏名			

(注) 太枠の中だけ記入してください。

裁判所使用欄

- 1 本件申立てを許可する。
- 2 手続費用は 申立人 本人 の負担とする。

令和 年 月 日

さいたま家庭裁判所
裁判官

これは謄本である。
前同日同庁 裁判所書記官

告知	告知
受告知者	申立人
告知方法	<input type="checkbox"/> 住所又は事務所に謄本送付 <input type="checkbox"/> 当庁において謄本交付
年月日	令和 . . 裁判所書記官

申 立 て の 趣 旨

- 申立人が、（居住用不動産が共有の場合は、本人持分につき）次の行為をすることを許可する旨の審判を求める。
- 別紙売買契約書（案）のとおり、本人の居住用不動産を売却すること
- 別紙（根）抵当権設定契約書（案）のとおり、本人の居住用不動産に（根）抵当権を設定すること
- 別紙賃貸借契約書（案）のとおり、本人の居住用不動産を賃貸すること
- 別紙使用貸借契約書（案）のとおり、本人の居住用不動産を無償で使用させること
- 本人の賃貸住宅（所在地_____）の賃貸借契約を合意により解除すること
-
- 申立人が、本人の別紙物件目録記載の建物を取り壊すことを許可するとの審判を求める。

申 立 て の 理 由

- 1 本人が居住していた時期
- 現在居住中
- 平成・令和_____年頃まで居住していた。
-
- 2 居住用不動産を処分する理由（複数選択可）
- 施設費・入院費等を捻出するため
- 不動産の維持管理に費用がかかっているため
- 本人が施設・病院等に入っており、当該居住用不動産に戻る見込みがないため
- 賃貸して賃料を得ることで本人の収入とするため
- 親族の（氏名）_____が、本人の当該土地の上に建物を建てるため
- 不動産を処分する前提として、建物を取り壊す必要があるため
- 建物が老朽化しているため
-

(注) このページの太枠内の該当する口にチェックをし、記載が必要な箇所には記入してください。

物 件 目 録

(土 地)

番 号	所 在	地 番	地 目	地 積	備 考
		番		平方メートル	<input type="checkbox"/> 共有持分 ___分の___
					<input type="checkbox"/> 共有持分 ___分の___
					<input type="checkbox"/> 共有持分 ___分の___
					<input type="checkbox"/> 共有持分 ___分の___

(建 物)

番 号	所 在	家 屋 番 号	種 類	構 造	床 面 積	備 考
					平方メートル	<input type="checkbox"/> 共有持分 ___分の___ <input type="checkbox"/> 未登記
						<input type="checkbox"/> 共有持分 ___分の___ <input type="checkbox"/> 未登記
						<input type="checkbox"/> 共有持分 ___分の___ <input type="checkbox"/> 未登記
						<input type="checkbox"/> 共有持分 ___分の___ <input type="checkbox"/> 未登記

(注) このページの太枠内の記載が必要な箇所に記入し、該当する口にチェックをしてください。